

事務事業名		市民文化会館自主事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業			
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目			
	施策名	30 地域文化の伝承と創造					会計	款	項	目
	基本事業名	02 芸術文化の振興			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	10
根拠法令		市民文化会館条例、大船渡市民文化会館自主事業実行委員会設置要綱								
所属	部課名	企画政策部 市民文化会館								
	課長名	千葉 博世								
	係名	事業係	電話	0192-26-4478						
	担当者	小松 哲								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
市民に対し、芸術文化に親しみ、交流を促進し、もって会館利用者人口の拡大を図る事業 ○自主事業実行委員会の開催(会議案内文書・資料・会議類末書の発送、会議資料作成、会議運営、議事録作成、報告書作成ほか) ○自主事業の企画・実施(実施方針の検討・作成、年間計画の作成、助成・共催申請手続き、実現可能性の検討、コスト計算、企画詳細検討、交渉、契約、各所との調整、サポート組織等との調整、宣伝広告、チケット販売、事業運営、アンケート、評価ほか) ○翌年度自主事業の検討 事業費は、公演者等に対する報償費、旅費、食糧費のほか、事業周知に係るポスター等の印刷製本費、広告料、プレイガイドチケット販売等の委託料など					総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) できるだけ多くの事業企画に対し助成申請し、(助)地域創造や自治総合センターからの助成で経費節減に努めた。また、鑑賞事業、市民参加型事業、普及育成事業など参加対象者ごとに事業を展開して幅広い年代の集客に努めた。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・自主事業実行委員会の開催/自主事業の開催/翌年度事業の検討	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 自主事業実行委員会開催回数 回 イ 自主事業実施回数 回 ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 人口 人 キ ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 芸術文化に親しみ、交流を促進し、会館利用者人口の拡大を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 自主事業に参加した人数 人 シ 自主事業実行委員会延べ出席者数 人 ス
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 芸術文化活動の振興が図られる。	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td rowspan="6">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>1,844</td> <td>3,561</td> <td>3,135</td> <td>3,653</td> <td>5,207</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,177</td> <td>1,169</td> <td>2,063</td> <td>1,558</td> <td>6,274</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>3,021</td> <td>4,730</td> <td>5,198</td> <td>5,211</td> <td>11,481</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>4,000</td> <td>4,000</td> <td>3,100</td> <td>3,100</td> <td>3,100</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>16,000</td> <td>16,000</td> <td>12,400</td> <td>12,400</td> <td>12,400</td> <td>12,400</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>19,021</td> <td>20,730</td> <td>17,598</td> <td>17,611</td> <td>23,881</td> <td>37,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>回</td> <td>14</td> <td>27</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>39,376</td> <td>39,117</td> <td>38,871</td> <td>38,712</td> <td>38,167</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>人</td> <td>9,875</td> <td>15,556</td> <td>6,713</td> <td>7,985</td> <td>6,897</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>人</td> <td>198</td> <td>231</td> <td>227</td> <td>217</td> <td>202</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)			単位							投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	その他	千円	1,844	3,561	3,135	3,653	5,207	15,000	一般財源	千円	1,177	1,169	2,063	1,558	6,274	10,000	事業費計(A)	千円	3,021	4,730	5,198	5,211	11,481	25,000	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2	2	延べ業務時間	時間	4,000	4,000	3,100	3,100	3,100	3,100	人件費計(B)	千円	16,000	16,000	12,400	12,400	12,400	12,400	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,021	20,730	17,598	17,611	23,881	37,400	⑤活動指標	ア	回	19	24	24	22	22	24	イ	回	14	27	16	14	16	18	ウ								⑥対象指標	カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,167	—	キ								ク								⑦成果指標	サ	人	9,875	15,556	6,713	7,985	6,897	10,000	シ	人	198	231	227	217	202	230	ス							
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)																																																																																																																																																																						
		単位																																																																																																																																																																												
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																						
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																						
		地方債	千円	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																						
		その他	千円	1,844	3,561	3,135	3,653	5,207	15,000																																																																																																																																																																					
		一般財源	千円	1,177	1,169	2,063	1,558	6,274	10,000																																																																																																																																																																					
		事業費計(A)	千円	3,021	4,730	5,198	5,211	11,481	25,000																																																																																																																																																																					
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2	2																																																																																																																																																																						
	延べ業務時間	時間	4,000	4,000	3,100	3,100	3,100	3,100																																																																																																																																																																						
	人件費計(B)	千円	16,000	16,000	12,400	12,400	12,400	12,400																																																																																																																																																																						
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,021	20,730	17,598	17,611	23,881	37,400																																																																																																																																																																						
⑤活動指標	ア	回	19	24	24	22	22	24																																																																																																																																																																						
	イ	回	14	27	16	14	16	18																																																																																																																																																																						
	ウ																																																																																																																																																																													
⑥対象指標	カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,167	—																																																																																																																																																																						
	キ																																																																																																																																																																													
	ク																																																																																																																																																																													
⑦成果指標	サ	人	9,875	15,556	6,713	7,985	6,897	10,000																																																																																																																																																																						
	シ	人	198	231	227	217	202	230																																																																																																																																																																						
	ス																																																																																																																																																																													

事務事業ID	0362	事務事業名	市民文化会館自主事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	市民文化会館が、地域文化創造の拠点として、平成20年11月15日に市立図書館との複合施設として開館したことに伴い開始された。 この業務事業は、市民との協働により運営していくこととしており、開館前の平成19年度から市民ボランティアによる自主事業実行委員会を立ち上げ、企画運営に協力していただいている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	開館初年度は、オープンを記念して自主事業公演や貸館による公演も多かったが、次年度及び23年度は全般的に減少傾向が見受けられた。東日本大震災で会館が避難所及び地震による修繕のため、約半年間利用できなかったが、その年度の後半から24年度にかけてはアーティストによる復興支援公演が多く行なわれ、初年度以上に事業公演が行なわれるとともに、多くの方々に利用されてきた。また、支援公演は無料で公演が多く、有料公演にすると極端に観客が減少する傾向が見受けられた。25年度からは、その支援公演も減少傾向が見受けられ始めており、今後は、普及育成事業を考慮しながら市民ニーズにあった自主事業公演の展開を図る必要がある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	事業ごとに行っているアンケートでは、様々な芸術文化鑑賞機会を提供されることに対して多くの市民から感謝されているが、より多く多様な芸術文化事業を望む声が多い。震災の影響で無料公演が多くなっており、普段、芸術文化にあまり接していない方も訪れるなど新たな利用促進につながっている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	市民が芸術文化に親しみ、交流することは、芸術文化の振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	指定管理者制度を導入して実施すると、事業の効率性や採算性のみを重視した事業運営をするおそれがあり、広く人づくりのための事業を行うという会館の設置目的が達成されない可能性があるため、市が直営で事業運営することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	市民に芸術文化に親しみ、交流する機会を提供し、芸術文化に取り組んでもらうことは、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	アウトリーチなどの地域の芸術文化に対する興味関心を高める取り組みや、プレイガイドを市内のみならず県内類似施設や人口集積地域にも設置すること、また、今後、大船渡倶楽部を設立し、チケット販売促進などに取組むことで、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	興業者等からの事業提案(イベント買取)だけによる事業企画、または、貸館事業では、芸術文化活動をはじめさまざまな活動に主体的に参画する市民を育てると、市民文化会館の使命が果たせない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】	現在、大船渡市芸術文化協会が主催して芸術文化鑑賞事業を実施している。 大船渡市芸術文化協会の事業との連携については、今後、協会や教育委員会と協議していく必要がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	コスト削減策としては、各種財団等による助成制度の活用や企業等との共催事業の実施などが考えられる。会館職員及び自主事業実行委員が効果的な事業運営の手法や企画立案の技術を身につけることで、魅力ある事業を実施できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	人件費の削減策として、専門的知識・技術・経験を要する分野について、嘱託職員の雇用、業務委託により人件費の抑制が可能となるほか、将来的には、職員の技能や知識向上や、市民ボランティアの活用によりコストの抑制を図る余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	自主事業の参加者には、一定の金銭的負担をしてもらうこととしており、受益と負担の公平性は確保される。また、様々な事業をバランスよく実施することで、均しく市民に参加、鑑賞する機会を提供できる。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>自主事業実行委員会を中心に、開館直後においてリアスホールに広く親しんでもらうよう、テーマを工夫して自主事業を展開したことにより、多くの市民の来場を促すことができた。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>事業企画専門の嘱託職員を中心に、自主事業実行委員会の企画立案能力の向上を図るとともに、効率的な事業運営を目指すほか、助成制度等も積極的に活用し、幅広い事業展開を図る。震災の影響により、今後、大幅な事業の見直しを図らなければならないが、市民参画を図り芸術文化の振興に努めていく必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	市民文化会館長	千葉博世
---------------	-------	---------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>震災後、被災地支援の無料、格安公演により、多くの集客があったが、早い段階で、本来のあり方に軌道修正していく必要がある。単に興行会社からの事業提案による企画だけでは、市民が主体的に参画する活動に結び付きにくいので、今後の市民劇場などの立ち上げによる活動が望まれるところである。また、助成制度もさらに活用するよう取り組む必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>自主事業実行委員会の企画立案能力の向上や市民劇場の立ち上げ、将来的には市民による会館運営の支援組織の立ち上げなど、様々な方策を考えていく必要がある。今後、どのように発展していくかが、市民の主体的な活動につながっていく大きな契機になるのではないかと考えられる。また、各種助成制度なども今後検討していく必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------